

社協だより

2020.12.24

93号

雫石町社会福祉協議会

～誰もが安心して暮らすことができる福祉のまちづくり～



福祉のさらなる 発展のために!!

も く じ

- ◆特集 身体障害者福祉協会…………… 2～3 P
- ◆第44回雫石町社会福祉大会
第73回岩手県社会福祉大会 …………… 4 P
- ◆R2年度赤い羽根共同募金運動報告…………… 5 P
- ◆西山保育園だより VOL.30 …………… 6 P
- ◆にじいろ保育園だより VOL.2 …………… 7 P
- ◆まちの福祉…………… 8～9 P
- ◆お知らせ…………… 10 P

11月25日(水)、『西山酪農報徳会』様よりご寄付をいただきました。

(写真左より、西山酪農報徳会 副会長 松原永樹氏、会長 小松郁人氏、社協 目時会長)

詳しくは裏面 (P10) へ →



←実際に発行している広報誌「身障しずくいし」

会員への有益な 情報を発信!!

身障協広報部では、会員に対して有益な情報を提供できるよう、会員自らが情報を集め、広報誌やバリアフリー情報誌を発行し、身障協会員に配布しています。広報誌を手にとった会員からは、『活動に参加できなくても、会員の活躍ぶりが分かる』『皆の元気な姿が写真等で見られてうれしい』等の声をいただき、作成・編集している広報部会員の生きがいにもつながっています。

発行した広報誌は、総合福祉センターにも掲示しておりますので、ぜひご覧ください。



魅力あふれる会の 運営を目指して

身体障がい者が社会で安心して生活できるよう、ユニバーサルデザインの考えのもと、関係機関団体と連携を図り、社会参加への意欲を高めるなど、「人にやさしいひとづくり」を合言葉に、障がい者福祉の向上を目標に活動を展開しています。

新型コロナウイルスの感染拡大が続き、日々変化する世情に対応するため、毎月のように役員会を開催し、コロナ禍でも最大限の予防に努め、「できる活動」を模索しながら、会員にとって、魅力ある事業を自分たちで計画、実行しています。



どっちの球が近い?

スポーツを通じて交流を!!

コロナ禍で、コミュニケーションや外出して運動する機会が減少している中、月1回のペースで軽スポーツ交流会を開催し、体を動かしながら健康増進と会員同士の交流を図っています。

開催時は感染予防対策の徹底はもちろんのこと、近年パラリンピックの種目としても注目されている『ボッチャ』など話題の種目を取り入れたり、誰もが気軽に参加してもらえるような企画に努めています。

一般の方に向けてレクリエーショングッズを貸し出しているほか、ルールの説明にも会員が出向きますので、ぜひお問い合わせください。



特集『雫石町身体障害者福祉協会』

「失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」

雫石町身体障害者 福祉協会とは

雫石町身体障害者福祉協会（以下「雫石町身障協」）会員96名は、「障害者関係団体と連絡を密にし、身体障害者の厚生を援助するとともに、会員相互と賛助会員との親睦をはかり、もって身体障害者福祉増進の途を講ずること」を目的に、昭和39年に発足。その後、現在に至るまで56年間、各種研修やスポーツ交流会等イベントを開催し、会員の生きがいづくりを図るとともに、障がい者の社会参加の促進を目指し、活動をしています。

今できることに目を向ける

いま、新型コロナウイルスの影響で、東京パラリンピックをはじめ、様々なイベントが開催延期・中止となり、「あれもこれもやっってはならない」という自粛ムードが漂っています。

特集のタイトルは、パラリンピックの父と呼ばれるルードヴィヒ・ゲットマン博士の言葉です。「失われたものを数えるな、残されたものを最大限に生かせ」との言葉から、雫石町身障協では「でき



雫石町身体障害者福祉協会では会員を募集しています。

ご興味のある方は、雫石町社会福祉協議会へご連絡ください。

TEL : 692-2230



昨年度の町外研修視察の様子

なくなったことではなく、今できることに目を向けることが大切」であると考え、コロナ禍の渦中에서도意欲的に活動が続けられています。今回は、その活動の一部をご紹介します。

第73回岩手県社会福祉大会

「共に生き、共に支える福祉社会の実現を目指して」

令和2年10月30日(金)、第73回岩手県社会福祉大会が岩手県民会館大ホールで開催されました。
当町からは、岩手県社会福祉大会長表彰「民間施設役職員」1名、岩手県社会福祉大会長褒賞「在宅介護功労者」1名、岩手県民生委員児童委員協議会会長表彰「永年勤続民生委員・児童委員」1名、延べ4名の方々が受賞されました。

受賞おめでとうです

岩手県社会福祉大会長表彰
民間施設役職員 1名

岩手県社会福祉大会長褒賞
在宅介護功労者 2名

多年にわたり「雲石町福祉作業所かし和の郷」指導員として他の職員の模範となりながら、社会福祉の増進に寄与した功績により、受賞されました。



* 下川原幸夫 氏



* 細川 清子 氏



* 根澤 治氏

岩手県民生委員児童委員協議会会長表彰
永年勤続民生委員・児童委員 1名



* 畠山 秋男 氏

多年にわたり、民生委員・児童委員として社会福祉の増進に寄与した功績により、受賞されました。

第44回雲石町社会福祉大会

令和2年11月17日(火)、第44回雲石町社会福祉大会が町総合福祉センターで開催されました。

本大会において、雲石町社会福祉大会長表彰「社会福祉事業功労者」5名、雲石町社会福祉大会長褒賞「在宅介護功労者」4名、延べ9名の方々が受賞されました。

受賞おめでとうです

雲石町社会福祉大会長表彰
(社会福祉事業功労者 5名)

雲石町社会福祉大会長褒賞
(在宅介護功労者 4名)



* 高橋 正江 氏



* 岩持斗季子 氏



* 折居 昭司 氏

多年にわたり、献身的な介護を行い、在宅福祉の大切さを身をもって示した功績により、受賞されました。



* 下澤田カツ子 氏



* 南黒沢福子 氏



* 宮林ふき子 氏



* 赤沢 範義 氏



* 下澤田今子 氏



* 長坂 秋子 氏

13年の長きにわたり「雲石町民生委員児童委員」として住民の福祉増進に努めた功績。



赤い羽根共同募金

報告 令和2年度赤い羽根共同募金運動

令和2年度赤い羽根共同募金
法人等職域募金実績

総額 **2,415,314円**

(令和2年11月30日現在)

74行政区：4,580世帯

10月1日より「じぶんの町を良くするしくみ」をスローガンに赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開され、当町においても、各行政区長さんを通じて、町民の皆さまへ募金をお願いいたしました。
また、町内の企業等からも協力頂きましたので、紙面にてご報告いたします。
今、新型コロナウイルス感染拡大防止により、社会・経済活動の自粛の影響が広がり、地域の福祉ニーズを持つ方を支援する必要性が高まっています。地域の繋がりがやえ合いを絶やさないためにも、皆さまからお預かりした募金は、次年度、町民の皆さま方に一層必要とされる事業となるよう展開してまいります。
皆さま方のたくさんのご協力ありがとうございました。

【法人募金】	
法人名	金額
岩井建設(株) 様	10,000円
岩手大崎電気(株) 様	10,000円
小岩井農牧(株)小岩井農場 様	10,000円
盛岡セイコー工業(株) 様	10,000円
(株)しずくいし 様	5,000円
新岩手農業協同組合雲石支所 様	5,000円
(株)中村建設 様	5,000円
松ぼっくり 様	5,000円
雲石タクシー(有) 様	3,000円
仙建工業(株) 様	3,000円
計	66,000円
【職域募金】	
事業所名	金額
雲石町役場職員一同 様	37,609円
計	37,609円
【学校募金】	
学校名	金額
雲石町立雲石中学校家庭部 様	20,555円
計	20,555円
【行政区募金】	
行政区	金額
74行政区 4,580世帯	2,291,150円
計	2,291,150円



～大学いもに憧れる 中学いも～
雲石町初!
雲石中学校家庭部
赤い羽根寄付金付き商品販売に挑戦!!

令和2年11月1日(日)、「元祖しずくいし軽トラ市」で雲石中学校家庭部の皆さんが、雲石町共同募金委員会初となる「寄付金付き商品」の販売を行いました。
「寄付金付き商品」とは、販売品の売り上げの一部が寄付金となるしくみで、本業を活かしながら社会貢献ができるというものです。
雲石中学校家庭部の皆さんは、例年、産業まつりで6次産業化実習としてスイートポテトタルトの販売を行っていましたが、今年は、産業まつりが中止となったため、自分たちで栽培したサツマイモをどのようにするか検討した結果、寄付金付き商品に設定し、売り上げの一部を赤い羽根共同募金へ寄付するため、販売の勉強会を開催し、値段設定や宣伝を学び、当日は、約20kg用意したサツマイモは一時間で完売し、売り上げの一部20,555円を雲石町共同募金委員会へ寄付して下さいました。
雲石町共同募金委員会では、「寄付金付き商品」について詳しく知りたい企業等の皆さまへ出向きご説明させていただきます。

じぶんの町を良くするしくみ。

いっぱい遊んで いっぱい笑って 大きくなあれ！

小規模保育 にじいろ保育園だより vol.2



にじいろ保育園が開園し、5 カ月が経ちました。現在は0、1、2歳児8名の子どもたちが毎日元気に登園しています。

秋は園庭のもみじがきれいに色好き、落ちたもみじの葉っぱを集めたり、一面イチョウの葉っぱで黄色く染まった保育園裏で、落ち葉を踏む音を楽しみながら散歩も楽しみました。室内では広いスペースを作り、追いかっこやボールプールで楽しむなど、体を動かして遊んでいます。

子どもたちの好奇心や探求心を満たす遊びを展開しながら、たくさん触れ合い、笑顔が溢れる日々を大切に過ごしていきたいと思います。



カンカンカン♪
こまちきたー！



笑顔いっぱい 元気いっぱい



西山保育園だより vol.30

クリスマスツリーに飾りつけをしたり、リースや星、長靴、色々な飾りを作り、クリスマス一色になった西山保育園です。クリスマス会では、「あわてんぼうのサンタクロース」の歌をうたったり、「きらきらぼし」のハンドベルの演奏、お遊戯をクラスごとに披露しました。園長先生サンタからはプレゼントをもらい、楽しい時間を過ごしました。

新型コロナウイルスが収束することをサンタさんに願い、今は感染拡大防止に努め、その中でも様々な行事を通して季節や文化に触れたり、友だちとイメージを共有し表現することで、豊かな心を育んでいきたいと思います。

メリークリスマス♪



西山の乃木坂♡



☆きらきらぼし☆



つっぱることがおとこの〜♪



☆サンタさんくるかな〜☆



上手にできたよ♪



「これからの地域の支え合い・助け合いを語る会」の開催 ～生活支援体制整備事業～

令和2年10月28日(水)に雫石町社会福祉協議会にて地域住民を対象に『これからの地域の支え合い・助け合いを語る会』を開催しました。

要支援者の増加、介護保険の担い手の減少、暮らしの中の困りごとの多様化、財源の圧迫などの課題から、地域の中で支え合う仕組みについて、みなさんご意見をいただき共有する機会となりました。

住み慣れた町で自分らしく暮らしていけるように、みなさんと一緒に生活支援コーディネーターは考えます。支え合いの仕組みについて興味がある方は社会福祉協議会(電話69212230)へご連絡下さい。

生活困窮により食料を必要としている方を支援するため、社会福祉協議会と町では、1月から食品寄付(フードバンク)BOXを常設します。

皆様からご寄付いただいた食品は、食料支援団体のフードバンク岩手を通して支援を必要としている世帯へ届けられます。

今までは期間限定でしたが、1月からはBOXを常設しますので、皆様のご寄付をお願いいたします。

食品寄付(フードバンク)BOXを常設します



【設置開始】1月4日(月)から常設
【受入日時】平日8時30分～17時
【設置場所】総合福祉センター入口
【提供していただきたい食品】
・賞味期限の記載があるもの
・賞味期限まで2ヶ月以上あるもの
・常温保存可能で未開封のもの
ただし、お酒はご遠慮願います。



まちの福祉

福祉に関する情報コーナー

報

雫石町老人クラブ連合会 健康ウォーキング事業
「しずくいしさんぽ」開催



10月3日(土)、十和田八幡平国立公園「網張の森」にて、健康ウォーキング事業「しずくいしさんぽ」を開催しました。

当日は、天候にも恵まれ、一般参加者7名が参加したほか、雫石高等学校の生徒さん4名がボランティアスタッフとして参加してくださいました。

網張ビクターセンター職員の方に野鳥の鳴き声や色づいた木々等の説明をしていただき、大自然を満喫しながら、ゆっくりと散策しました。

散策終了後は、参加者各々が温泉で汗を流したり、雄大な景色を眺めながら昼食をとったりして、目まぐるしい日常から離れた穏やかな時を過ごしました。



クラブ男厨会

おすすめレシピ紹介

「男厨会」とは、『男子、厨房に入る会』の略称で、地域貢献活動にも取り組んでいるボランティア団体です。11月からは活動拠点を中央公民館に移し活動しています。

vol. 7

さんまロール

【材料】(4人分)

- | | | |
|--------------|---------------|----------------|
| ・さんま.....4尾 | ・レタス.....お好み | ・カレー粉.....大さじ2 |
| ・ベビーチーズ...2個 | ・爪楊枝.....8本 | ・小麦粉.....大さじ1½ |
| ・シソの葉.....4枚 | ・だし汁.....大さじ2 | ・コショウ.....適量 |
| ・レモン.....お好み | ・酒.....大さじ1½ | ・サラダ油.....適量 |

【作り方】

- ①さんまは三枚におろし、腹骨をすきとる。だし汁と酒をあわせ、7～8分漬けておく。
- ②ベビーチーズは4等分(棒状)に、シソの葉は芯をのぞいて縦半分に切る。
- ③漬けておいたさんまの水分を、キッチンペーパーでしっかりと取り、コショウを振る。
- ④カレー粉と小麦粉を合わせ、さんまに薄くまぶす。
- ⑤皮面を下にしてまな板に置いたさんまにシソの葉とチーズをのせ、頭側からクルクルと巻き、爪楊枝を刺し通してとめる。
- ⑥熱したフライパンに油をひき、中火で転がしながら、全体に焼き色がつくように、じっくりと焼き上げる。
- ⑦レタスやレモンをお好みで添え、盛り付ける。

できあがり



雫石町民生委員児童委員協議会 お元気訪問事業開催しました！

令和2年11月10日(火)雫石町民生委員児童委員協議会女性部会主催による『お元気訪問事業』が開催されました。

この事業は、例年、75歳以上の一人暮らしの方々へ、女性部会が心を込めてお弁当を作り、民生委員児童委員が安否確認を兼ねて訪問する「一人暮らし夕食サービス事業」という名称で開催されておりましたが、今年はコロナウイルス感染症感染拡大防止のために代替事業として、町内の特産品とメッセージカードにお一人おひとりの健康を願い折鶴を添えてお届けしました。



雫石町赤十字奉仕団 ハイゼックスで炊き出し訓練

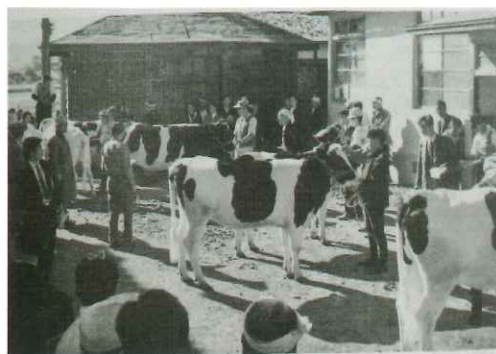
10月4日(日)雫石町総合福祉センターにて、奉仕団30名による炊き出し訓練を行いました。例年、町総合防災訓練で炊き出し訓練を実施していましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、中止となりました。

しかし、役員会において「1年に1回は訓練をした方がいい」との意見が出たことや、「コロナ禍の渦中でも大規模な災害が発生するかもしれない」という危機感から、団員のスキル向上を図るため、感染症予防に努め、釜での直炊飯とハイゼックス炊飯袋での湯煎炊飯の2つの方法で訓練に取り組みしました。

栗石町社会福祉協議会へ「五百五十万円」もの多額の寄付をして下さった「西山酪農報徳会」様について、今回の寄付の経緯やどのような団体なのか小松郁人会長よりお話を伺いました。

◆西山酪農報徳会とは

西山酪農報徳会は昭和20年1月、旧西山村農協で組合長を務めていた岡本昌訓が会長となり発足した団体です。「西山の酪農を発展させる」という熱い志のもと、会員である各酪農家が牛乳1升（約1・8ℓ）出荷する毎に「1円」ずつ積立し、獣医師の医療器具や農地の購入費に充ててきました。（注1）「乳牛飼育のノウハウも手探りだった時代、搾乳量も『1頭から1日に2〜3升（約3・6〜5・4ℓ）が普通』だったようです。（注2）当時の酪農家達が積み立ててきたこの基金は、先人たちの努力が積み重なったものです。



西山村乳牛共進会開催の様子



西山酪農報徳会
会長 小松 郁人氏

◆今回の寄付の経緯について

ピーク時は100件以上あった会員の酪農家も、今では8件ほどになりました。会則により、「積立金の残額を福祉団体へ寄付すること」を総会に則り、今回、栗石町社会福祉協議会の福祉基金へ寄付する運びとなりました。

（注1：当時の大卒男性でも初任給は1万円ほど）

（注2：現在では、1頭から平均1日20〜30リットル搾乳できるとのこと）



牛乳の輸送缶の消毒の様子

学生服寄付募集!!

不要になった中学校や高等学校の「学生服」を募集しています。

卒業しても、思い出の染み込んだ「学制服」を捨てることができないでいる人は少なくありません。中には、兄弟全員の制服やジャージを保管しているお宅もあるかと思えます。

でも、もう二度と袖を通すことはないし、場所をとるし……。単に捨ててしまうのは胸が痛むけど、誰かの役に立つのなら譲りたいと思う方のご寄付をお願いします。

― 寄付頂いた学生服の流れ ―

学生服 ↓ 栗石町社協 ↓
盛岡市内学生服リサイクル店
（刺繍や名前削除、クリーニング等）
実施後、店頭にて低価格販売

まずはご相談ください。

電話：692-22230 担当：渡邊

※収益金の一部は、子供の未来応援国民運動に寄付されます。

やさしいまごころを
ありがとうございます

（令和2年8月から12月までの間に、寄せられた寄付についてお知らせいたします。）

寄付物品

○お米

・細川 啓一様
・馬坂 ひとみ様
・峰川 英利様
（町内の困窮者の為に）

生活福祉資金貸付事業 ～教育支援資金のご案内～

高校・大学・専門学校の就学費用を一定の所得額以下の世帯へ貸し付けします。合格前でも受験票の写し等を持参いただければ申込可能です。貸付決定まで時間がかかりますので、余裕をもってお早めにご相談ください。

資金の種類	貸付限度額等
教育 支援費	高校 月35,000円以内
	高専 月60,000円以内
	短大 月60,000円以内
	大学 月65,000円以内
就学 支度費	500,000円以内 入学時のみ利用可能

【返済】

・据置期間 卒業後6か月以内
・返済期間 20年以内（無利子）

杜協行事予定

1月 心配ごと相談所
2月 心配ごと相談所
3月 心配ごと相談所
25日（木）心配ごと相談所

○栗石町社協だより

令和2年(2020年)12月24日

第93号

発行／栗石町社会福祉協議会

〒020-0541 岩手県岩手郡栗石町千刈田82番地2

TEL：019-692-2230 FAX：019-691-1140

e-mail：shizuku-shakyo@shisha.or.jp

ホームページ：https://www.shisha.or.jp